

# TOKYO A-ARENA (仮称) <全体概要>

## プロジェクトのポイント

- トヨタグループにより推進される**民設民営アリーナ**
- グループの特色を活かし、**次世代モビリティとの連携**によるサービス提供等、**様々なアイデアを構想**
- ホームチーム運営企業（トヨタアルバルク東京(株)）によるアリーナ運営であり、特徴のあるVIPルームやラウンジ等、**多様なスポーツ観戦方法を提供**
- スポーツ以外の音楽ライブやMICEにも利用できる**多目的アリーナ**
- 高品質な**照明・映像・音響設備**による顧客観戦価値向上

## 施設概要

所在地／ 東京都江東区青海1区域T2街区  
 アクセス りんかい線東京テレポート駅徒歩6分、ゆりかもめ青海駅徒歩4分

面積 敷地 約27,000㎡ 延床 約37,000㎡

構造 鉄骨造、5階建

観客席 メインアリーナ 計約10,000席

VIPルーム 有り（VIPルーム、ラウンジ等）

付帯施設 飲食・物販 有り

その他 サブアリーナ・会議室等

ホームチーム アルバルク東京（B1）

スポーツ興行 ・ Bリーグ公式戦  
 ・ コンサート、イベント等

## 施設イメージ



外観



アリーナ内ラウンジ



アリーナ客席

## 事業概要

事業スキーム トヨタ自動車(株)が所有する土地において、トヨタ不動産(株)がアリーナを整備し、トヨタアルバルク東京(株)が管理運営を行う。

事業主体 トヨタグループ

所有者 土地：トヨタ自動車(株) 建物：トヨタ不動産(株)

整備方法 トヨタ不動産(株)によるアリーナ建設

資金調達 トヨタグループによる民設民営事業

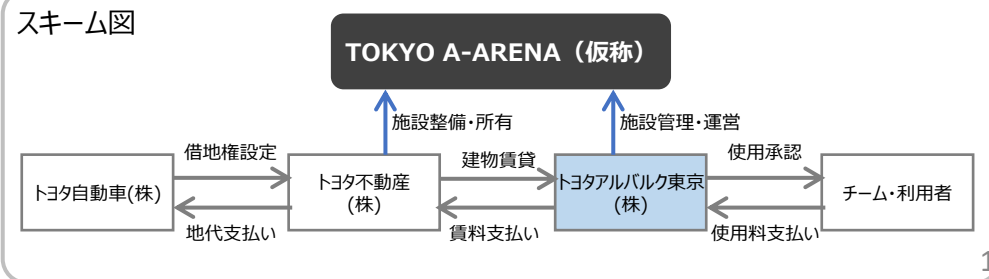
管理・運営方法 トヨタアルバルク東京(株)が運営

事業期間 整備：2023年6月～2025年夏（工期）約2年  
 開業：2025年秋

事業収支（百万円）	整備費	未定	管理運営費	未定
	利用料収入	未定	総収入	未定

行政の役割・支援 施設整備の許認可、まちづくりの助言等

## スキーム図



## 【参考ポイント①】顧客経験価値の向上

- **約10,000席のシートを楕円状に配置**することにより、あらゆる席からコートが見やすく、顧客が観戦時に一体感を感じられるように設計されている。
- コートから近いVIPルームは、個室の外で会場の熱気を感じつつ個室の中でくつろぐことが可能な**開放感とプライバシーを両立**させた設計となっている。
- 会場に設置された高品質なセンタービジョンと音響システムにより、**照明・映像・音響が一体化した演出**が実現され、顧客観戦価値の向上を計画している。



楕円形状のシート配置

コートに近いVIPルーム

最新の照明・映像・音響設備

## 【参考ポイント②】多様な利用方法や用途の実装

- トヨタグループの技術を活用した様々な**モビリティを導入**することにより、アリーナへのアクセスにおける利便性向上を計画。
- バリアフリーへの対応や多言語案内、パラスポーツでの活用を見越した計画等、**ダイバーシティ&インクルージョン**の観点からアリーナ整備が進められている。



モビリティによるアクセスの向上



モビリティの新たな活用方法



パラスポーツへの対応

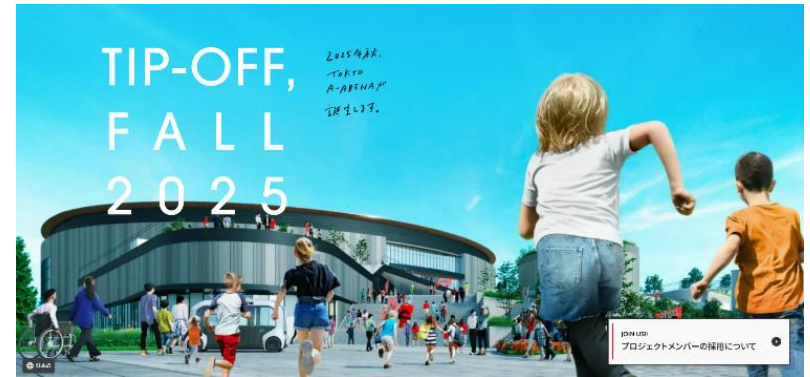
## 【参考ポイント③】民間活力を活用した手法の採用

- トヨタグループ各社がもつ独自の技術や強みを生かし、それらを連携させた**民設民営アリーナ整備事業**である。
- トヨタ自動車、トヨタ不動産及びトヨタアルバルク東京を中心にプロジェクトチームが組成されている。その他、事業パートナーとして、関係会社と連携し事業が推進されている。
- アリーナ周辺の**大型施設等との連携**や**行政**（東京都や江東区等）との**協議**が検討され、お台場周辺のより良いまちづくりのための取組を進めている。

アリーナプロジェクトチーム	
土地所有	トヨタ自動車(株)
建物所有	トヨタ不動産(株)
管理運営	トヨタアルバルク東京(株)
その他	事業パートナー

## 【参考ポイント④】顧客・利用者の把握と情報の提供

- 利用者への情報提供や期待感向上のため、**アリーナ開業前より専用サイトが公開**されている。
- 本事業は、**Bリーグの将来構想**に基づく新B1基準に合わせたアリーナ整備事業として、Bリーグやバスケットボールの更なる成長に寄与及び連動した事業である。



アリーナの開業前専用サイト